

## 第1章 基本方針

### 現 状

#### 《がんによる死亡者数》

毎年約3千人ががんで亡くなり  
死因の第1位

(H23 3,408人、全死亡者の約3割)  
(50・60歳代では死因の4割超)

(部位別内訳)

男性 ①肺 ②胃 ③大腸  
女性 ①大腸 ②胃 ③肺

#### 《罹患数》 ※医療機関からの届出数で全数でない

男性 ①胃 ②大腸 ③肺  
女性 ①乳 ②大腸 ③胃

(経年推移) S62→H20

男性: 大腸が増加し肺を超える  
女性: 乳と大腸が増加し胃を超える

#### 《がん検診受診率》

目標50%に達していない

肺がん36.3%(全国2位)など5大がん  
とも全国平均を上回るが20～30%台

### 目指すべき姿

「がんを知り、がんを克ち、  
がんとともに生きる」を基本  
目標に、県民が一体となってがん  
対策に取り組み、がん患者を含め  
た県民が安心して、質の高い医療  
と支援を受けられることを目指す

### 全体目標【H20からの10年目標】

#### I がんによる死亡者の減少

(75歳未満の年齢調整死亡率20%減少)

81.5(H23) → 68.2 ※人口10万対

#### II がん患者・家族の苦痛軽減 療養生活の質の維持向上

#### III がん検診受診率50%以上

#### 新IV がんになっても安心して暮 らせる社会の構築

## 第2章 重点的に取り組むべき課題

### 1 予防の強化と早期発見の推進

- ①がん予防の強化(たばこ対策、女性のがんへの対策等)
- ②がんの早期発見の推進(働く世代の検診受診率向上等)

### 2 質の高い医療の確保

- ①集学的治療のさらなる充実と専門的医療従事者の育成(チーム医療の推進など)
- ②がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- ③がん登録の推進

### 3 患者支援体制の充実

(相談支援体制の充実、就労支援、小児がん対策など)

## 第3章 分野別施策及び個別目標

### (1) がんにかからない生活習慣の確立

- ①子どもの頃からの正しい知識の普及
- ②望ましい生活習慣の確立
- 拡③たばこ対策の充実、強化  
★職場や家庭における受動喫煙防止の促進
- 新④ウイルスや細菌など感染の予防  
★ワクチン接種の普及など女性のがんへの対策の推進

#### 主な個別目標

- ※目標年度は健康増進計画に合わせる
- | 【現行(H22)】                       | 【目標値(H33)】    |
|---------------------------------|---------------|
| ★食塩摂取量の減少<br>男性12.2g、女性10.5g    | → 男性9g、女性7.5g |
| ★成人の喫煙率減少<br>男性33.4%、女性10.5%    | → 男性24%、女性6%  |
| ★未成年者(高3)の喫煙<br>男性3.8%、女性1.7%   | → 喫煙をなくす      |
| ★受動喫煙防止の促進(分煙等未取組事業所)<br>事業所28% | → 受動喫煙のない職場   |

### (2) がんの早期発見体制の強化

- 拡①検診受診率の向上  
★働く世代や退職者の受診率の向上  
★がん対策推進協定の締結企業の拡大  
★職域や個人で受診するがん検診の分析
- ②効果的検診手法の普及
- ③検診精度の向上

#### 主な個別目標

- | 【現行(H22)】                             | 【目標値】   |
|---------------------------------------|---------|
| ★がん検診受診率<br>肺36.3、乳30.5、子宮27.0%       | → 50%以上 |
| 大腸22.9、胃18.8%                         |         |
| ★がん検診精密検査受診率<br>乳91.7%、肺90.6%、子宮90.1% |         |
| 胃88.3%、大腸78.4%                        | → 90%以上 |

### (3) 質の高い医療が受けられる体制の充実

- ①富山型がん診療体制の強化
- 拡②手術療法、放射線療法、化学療法のさらなる充実  
とチーム医療の推進  
★多職種連携によるチーム医療の推進(口腔ケア等)  
★小児がん拠点病院との連携体制の構築
- 拡③がん医療を担う専門的医療従事者の育成及び  
資質の向上  
★認定看護師の養成(教育課程の設置)
- ④最新の医療技術への対応
- 拡⑤がんと診断された時からの緩和ケアの推進

#### 主な個別目標

- | 【現行(H24)】  | 【目標値】    |
|--|----------|
| ★がん医療体制ネットワークの充実強化<br>・地域連携クリティカルパス運用数 229件(H23)       | → 500件   |
| ★拠点病院における多職種チーム医療体制の整備<br>・がん医療関連チーム数 46チーム(H23)       | → 100チーム |
| ★がん医療を担う専門的医療従事者の育成<br>・認定看護師数 34名                     | → 70名    |
| ★がん診療に携わる全ての医療従事者の基本的な緩和ケアの<br>理解及び知識と技能の習得(緩和ケア研修の受講) |          |
| ・医師受講者数 562名   | → 850名   |
| ・コメディカル受講者数 295名                                       | → 600名   |

### (6) 調査・研究の推進

- ①がん登録の推進  
・がん登録の推進及び地域特性の検証
- ②臨床研究の推進  
・臨床研究及び治験の推進  
・「くすりの富山」の製造技術を活かした抗がん剤等の高薬  
理活性医薬品の開発の促進 等

#### 主な個別目標

- | 【現行(H23)】                            | 【目標値】  |
|--------------------------------------|--------|
| ★地域がん登録の届出数の増加<br>・拠点病院からの届出数 8,983件 | → 増加する |

### (4) がん患者の支援体制の充実

- 拡①患者及びその家族の相談支援の充実  
★「地域統括相談支援センター」の設置
- ②在宅療養支援体制・地域緩和ケアの充実  
・開業医グループ化、訪問看護ステーション充実  
・5大がんに加え在宅緩和ケア地域連携クリティカ  
ルパスの運用  
★訪問看護の普及や多職種連携の推進
- 拡③がん患者の活動支援  
★ピアサポーターの育成及び患者支援への活用
- 新④がんの教育・普及啓発

#### 主な個別目標

- | 【現行(H24)】                             | 【目標値】   |
|---------------------------------------|---------|
| ★相談支援体制の充実<br>・地域統括相談支援センターの設置        | → 25年度  |
| ・拠点病院の相談支援センターの充実<br>相談件数 3,513件(H23) | → 増加する  |
| ★在宅療養支援体制の充実<br>・開業医グループ参加医師数188名     | → 増加する  |
| ・訪問看護ステーション数(人口10万対)<br>3.6施設         | → 4.5施設 |
| ★ピア・サポーターの養成<br>・ピアサポーター数 0名          | → 60名   |
| ★がん患者を正しく理解し、向き合えるようになること             |         |

### 新(5) 働く世代や小児へのがん対策の充実

- 新①がん患者の就労を含めた社会的問題  
への対応  
★仕事と治療の両立が図られるような環境づくり
- 新②小児がん対策  
★小児がん患者が支援等を受けられる環境づくり

#### 主な個別目標

- ★がん患者・経験者等の仕事と治療の両立支援  
・就労実態やニーズの把握、事業者向け啓発セミナー  
の開催、ハローワーク等との連携体制の構築
- ★小児がん患者が慣れ親しんだ地域で生活し、教育を  
受け医療や支援を受けられる環境整備